
編集後記

専門職大学という新しい制度のもと 2021 年に開学した大阪国際工科専門職大学では、専門職大学教育のあり方について日々議論が交わされ、様々な試行錯誤がおこなわれています。本学では、吉川弘之学長による *Designer in Society* の理念のもと、一般的な大学教育に実践的な専門職教育を加えたカリキュラムとして、企業における実習や企業からいただいたテーマの解決をめざす PBL (Project Based Learning) 実習、さらに、グループワークの科目が多数配置されています。本誌 DCK は、このような企業との連携についての実践報告に加え、教員によるオリジナルな研究成果が報告されています。本学における教育、研究についてご理解をいただき、共同研究や教育の展開につなげる機会としてご活用いただけるものとなっています。

今春、本学では、第 1 期生が卒業し社会に巣立っていきます。彼らの今後の社会での活動に対する評価もいただきながら、我々の専門職大学教育のあり方もアップデートしていく必要があります。その際にも、本誌の各報告はおおいに役立つものになるはずです。

表紙のイラストは第 1 巻から引き続いて、今村孝矢先生に制作いただきました。専門職大学教育の新たな地平を切り拓くという本学の特徴をよく表している素晴らしいものになりました。また、投稿いただいた方々、査読をおこなっていただいた方々に編集委員一同より感謝申し上げます。今回、本誌のための LaTeX のスタイルファイルを、電子情報通信学会誌のものをベースに中田尚先生に作成していただきました。編集作業や、リポジトリの公開は、本学職員の佐藤多恵さん、竹田久恵さんのご尽力あつてのものです。深く感謝いたします。そして、本誌を手にとってくださいました読者の皆様に何よりも感謝申し上げます。今後とも本誌の内容やあり方についてどうぞ遠慮なくご意見をお聞かせください。

島津 浩哲 (大阪国際工科専門職大学)